

今日のおおたか中 令和2年6月1日（月）

♪おおたかの森中 校歌♪

校歌はいつ完成した？

どこの学校にも必ずある「校歌」。おおたかの森中の開校当初はまだ「校歌」ができあがっていませんでした。校歌ができたのは、開校の年の1月頃だそうです。

校歌はどのように作られた？・・・

作曲者は、数々の有名な合唱曲をつくられている松井孝夫先生です。2年前の3月に、（今の3年生が1年生の時）校歌をつくった松井先生がおおたかの森中に来られて、「校歌」がどのようにして作られたかということをお話してくださいました。卒業式前ということもあって、校歌の歌唱指導もしていただきました。

実は「校歌」の歌詞は、開校初年度に在籍していたおおたかの森中の生徒たち、つまり、みなさんの先輩たちが、好きな言葉や歌詞にしたい言葉などを出し合い、それを松井先生がひとつにまとめてくださいました。

1 番の歌詞は、「朝、みなさんが元気に登校する様子」、
2 番の歌詞は、「学校生活で友達と仲良く過ごす様子」、
3 番は、「学校での1日の生活を終えて帰る様子」、
そして、これからの未来に向かって希望を抱いている様子」

このようなイメージをもってつくられたそうです。

1 番は斉唱（みんなで同じパートを歌うこと）、

2, 3 番は、合唱（ソプラノ・アルト・男声パートの3つに分かれて歌うこと）です

とても明るくさわやかで、きれいなハーモニーが響き合う曲です。

歌詞に出てくる「大鷹」を、先日学校のグラウンドで見かけました。青い空に、高く、大きな羽をパタパタさせて飛んでいる「大鷹」。「本当にいるんだ！！」と感動しました。

みなさんの先輩たちの思いや願いが込められている校歌…。大切に歌い継いでいきたいものですね。歌詞を掲載しますので、改めて、おおたかの森中の「校歌」の歌詞をよく読んでみてください。

おおたかの森中学校 校歌

作詞・作曲 松井 孝夫

1 朝焼けを浴びて 集う仲間たち

友と学ぼう 元氣よく

大鷹のように 翼ひろげて

夢に向かって はばたこう

希望に満ちた 未来をさがそう

笑顔あふれる おおたかの森中学校

2 森そよぐ風が みを吹き抜ける

友と語ろう 朗らかに

大鷹のように 空の果てまで

勇気をもって 踏みだそう

友情胸に 大志をいだこう

ともに築こう おおたかの森中学校

3 自然がやさしく つつむこの校舎

友と歩もう たくましく

大鷹のような 力強さで

励ましあって やり抜こう

誇りを持って 歴史をきざもう

未来輝く おおたかの森中学校